

Title	板倉卓造先生略歴；主要著作目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1964
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.37, No.12 (1964. 12) ,p.313- 318
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	板倉卓造先生追悼論文集
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19641215-0313

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

板倉卓造先生略歴

明治十二年十二月九日

広島県庄原町に出生

三十六年 三月

慶應義塾大学部政治科卒業

三十六年 四月

慶應義塾普通部教員

四十三年 三月

慶應義塾留学生として、英、米、仏に留学

同年 四月

慶應義塾大学部教員、国際法、政治学を担当

四十四年 四月

慶應義塾体育会理事

大正

五年 四月

英国へ出張

九年 四月

慶應義塾大学法学部教授（慶應義塾大学部が、大学令による大学へ昇格したためである）

十五年 四月

慶應義塾体育会理事を退き、同会副会長

同年 五月

東京帝国大学より法学博士の学位をうく。主論文は、近世国際法史論

昭和

同年十二月

慶應義塾体育会副会長を退き、同会会長

三年 四月

慶應義塾大学法学部長

十一年 四月

ふたたび慶應義塾大学法学部長

同年十二月

時事新報社主筆

十五年 三月

慶應義塾大学法学部長を退く

十七年十一月

法学部教授の現職のまま慶應義塾学事顧問

- 十九年 三月
慶應義塾大学法学部教授および慶應義塾体育会会長を退く
- 同年 四月
慶應義塾大学名誉教授 (学事顧問は旧のまま)
- 同年 六月
千代田生命監査役
- 二十一年 一月
時事新報社社長
- 同年 三月
貴族院勅選議員
- 同年 十月
慶應義塾評議員 (学事顧問を退く)
- 同年十二月
慶應義塾評議員会議長
- 二十二年 五月
貴族院議員を退く
- 二十五年十一月
時事新報社会長
- 二十六年 十月
日本新聞協会より第一回新聞文化賞をうく
- 三十年 十月
産経新聞社取締役
- 同年十一月
産経新聞社論説委員長
- 三十一年 一月
慶應義塾評議員会議長を退く
- 同年 八月
ふたたび慶應義塾学事顧問
- 三十五年 六月
産経新聞社取締役、論説委員長を退く
- 同年 七月
産経新聞社顧問
- 三十八年十二月二十三日
逝去、享年八十四歳

板倉卓造先生主要著作目録

著 書

国民政治読本	靱 山 書 店	大正三年
欧洲戦乱の真相と交戦国	靱 山 書 店	大正三年
近世国際法史論	巖 松 堂 書 店	大正一三年
国民政治時代	大 岡 山 書 店	大正一五年
国際紛争史考	中 央 公 論 社	昭和一〇年
政治家史論	慶 応 通 信	昭和二九年

論 說

最惠国条款及其分類	三田学会雑誌第一卷五号	明治四〇年
最惠国条款の沿革	三田学会雑誌第三卷四号	明治四二年
米布合併の先例	三田学会雑誌第四卷三号	明治四三年
伊土戦争と国際法	三田学会雑誌第六卷二号	明治四五年
空中自由説を評す	国際法雑誌第一〇卷六号	明治四五年

国際法上国家及び国家の分類に関する私論

国際法上大国の地位

無条件最惠国条款は絶対的無償規定に非ず

タフト氏の在米外人保護論

英国捕獲審検所に於ける独船智利号事件の検定

時と場所と物に依る海上捕獲権の制限

英国の所謂対独封鎖

Tjorölev 運動の主張

アドリヤチック問題

所謂治外法権国及び敵占領地に於ける住所

和蘭護送船問題と軍艦護送の変遷

中立船内の敵貨と敵船内の中立貨

国際法なる名称の変遷

西比利亞撤兵論

露国政党と過激派

外国領海内に於ける商船の地位に関する仏国主義

領海三海里制の由来

対敵通商禁止に関する英米主義の理論と其変遷

開戦の際の商船取扱に関する英国主義

三田学会雑誌第六卷四号

国際法雑誌第一一巻四、五、六、七号

三田学会雑誌第八卷七号

外交時報第二一巻二四七、二四八号

三田学会雑誌第九卷一〇、一一号

三田学会雑誌第一〇巻三号

国際法雑誌第一六巻三号

三田学会雑誌第一一巻一、二、三、四号

三田学会雑誌第一二巻一、二、三、四、五、六、七、八、九号

三田学会雑誌第一二巻一〇、一一号

三田学会雑誌第一三巻六、七、八、九、一〇号

国際法外交雑誌第一七巻六号

三田学会雑誌第一四巻一、二、三、四号

三田学会雑誌第一四巻三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二号

三田学会雑誌第一五巻一、二、三、四号

史学雑誌第三二巻一号

法学研究第一巻一号

法学研究第一巻三号

大正元年

大正元年—二年

大正三年

大正四年

大正四年

大正五年

大正六年

大正六年

大正七年

大正七年

大正七年

大正八年

大正八年

大正九年

大正九年

大正一〇年

大正一〇年

大正一一年

大正一一年

丁扶艦隊差押事件の先例的価値 実力封鎖法史論	国際法外交雑誌第二二卷九号	大正一一年
政治思想上憲法發布前 議會制度の不信用と其改革	国際法外交雑誌第二二卷一、六、九号 第二三卷三、四、七、一〇号	大正一二年 一三、三年
君主神權説	法学研究第三卷二号	大正一三年
國際平和の確立の為に民族的自尊心を尊重せよ 戦争及び平和法論における海洋自由論	法学研究第三卷二号 法学研究第四卷二号	大正一四年
新民約論	國際知識第五卷二号	大正一四年
人權の保護	國際法外交雑誌第二四卷五号	大正一四年
独裁君主政治	現代思潮講演集	大正一四年
立憲君主政治	成人第二卷一、二、三、四号	大正一五年
国会と選挙	成人第二卷五、六、七号	昭和二年
外交官の <i>Persona grata</i> と <i>agrément</i> に関する 一悪例としてのヒル事件	成人第二卷八号	昭和二年
レンテルヌイ捕獲事件に関する当時の日本外務省弁明書	成人第二卷九、一〇、一一号	昭和二年
英国下院議長の話	法学研究第七卷二号	昭和三年
空論を空論視する空論	法学研究第九卷四号、第一〇卷一号	昭和五年―六年
リットン報告書の法律的形式論	成人第六卷四、五、六、七号	昭和六年
フオ克兰ド島の帰属問題	成人第六卷八号	昭和六年
ゼネラル・アームストロング号事件の事実	國際知識第一二卷一―号	昭和七年
	法学研究第一二卷二、四号、第一三卷一号	昭和八年―九年
	三田政治学会誌第一号	昭和九年

革命の遠兆としての外国旅行——
我維新史に就て革命理論上の一考察

明治史に於ける政争と皇室

学説の統制

思想の統制

ヒットラーとレーム

学説統制の犠牲者——山鹿素行と熊沢蕃山

バーネルの妨害戦術——反对党の研究

法学研究第一四卷三、四号

法学研究第二四卷九・一〇合併号

三色旗第四一、四二、四三号

三色旗第四五、四六号

法学研究第二五卷一一・一二合併号

三色旗第五八、五九号

法学研究第三三卷一号

昭和一〇年

昭和二六年

昭和二六年

昭和二六年

昭和二七年

昭和二八年

昭和三四年

(中沢精次郎)